

TPPは、私たちの暮らしを豊かにするものではなく、暮らしを脅かす危険性があることに人々が気が付きはじめています。

日本のマスコミは報道しませんが、実は世界では大規模なTPP反対運動が起きています。

日本は、反対の声やアメリカ大統領選挙後の情勢を慎重に見極めることなく、与党が衆議院本会議(2016.11.10)で強行採決しました。参議院でも強行採決される可能性が高いです。

全参加国12カ国が2年以内に議会承認などの国内手続きを終えられない場合、GDPの合計が85%以上を占める6カ国以上が合意することでTPPは発効します。

しかしアメリカが12カ国のGDPの6割を占めているので、アメリカが批准しなければ、TPPは発効できません。

トランプ氏はTPPは破棄する意向ですが、今後TPPが消えても、日米FTAのような形で米国有利な内容の協定が2国間で持ち込まれる危険もあります。

問題の本質は、アメリカ対日本という対立構造ではなく、グローバル企業(日本の大企業を含む)vs私たち99%の生活者、中小企業、生産者という構造です。TPPが無くなっても、必ず規制緩和と言う形でまた現れてきます。私たちはこの動きを監視し、止める必要があります。

まだ間に合う!

▶▶▶▶▶ 私たちができること ◀◀◀◀◀◀

- 1 **STEP 1**
周りの人に話してみる。SNS、口コミなどで拡散する。
- 2 **STEP 2**
抗議集会、学習会などに参加する。
- 3 **STEP 3**
マスコミにTPPの問題点を報道するように意見を送る。
- 4 **STEP 4**
国会議員に、電話・FAX・メールで反対するよう要請する。
- 5 **STEP 5**
街頭でTPPの危険性を宣伝する(街頭宣伝をする)。
- 6 **STEP 6**
危険性を訴えるチラシをポスティングする。
- 7 **STEP 7**
違憲訴訟の原告や会員になる。

▼ 情報サイト ▼

TPPを批准させない!全国共同行動

<http://nothankstpp.jimdo.com/>

TPP交渉差止・違憲訴訟の会

<http://nothankstpp.jimdo.com/>

危ないTPP

<http://kyujokowasuna.com/?p=2214>



環太平洋パートナーシップ協定

TPP
どんなものなの?
?

解釈で憲法9条を壊すな!実行委員会 街宣チーム

<http://kyujokowasuna.com/> Twitter @48daisyukai